

リニア新幹線沿線住民ネットワークが結成集会 「凍結」から「中止」へ大きなうねりを！

2月10日、橋本のソレイユさがみにてリニア新幹線沿線住民ネットワーク結成集会が開かれました。当日、会場のソレイユさがみは、沿線の岐阜、長野、山梨、神奈川、東京の住民と地元相模原市民がおおぜい参加し会場は熱気であふれかえりました。

基調講演では科学ジャーナリストの広瀬隆さんが「脱原発社会にリニア新幹線は必要か」と題して原発再稼働を前提とするリニア新幹線を批判、シンポジウムでは物理学者の阿部修治さんが「多くの技術的弱点が存在し、事故のリスクは無視できない」と指摘。また千葉商科大学の橋山禮治郎さんは「地元を無視した鉄道で地域の交通ネットワークを分断する」と指摘しました。集会の最後に「リニア新幹線沿線住民ネットワーク結成宣言」を確認しました。



あいさつする各地域住民代表

橋本地域住民が活発な論議。



橋本周辺と言われている地下中間駅の工事について地域住民に情報が届いているのでしょうか。2月24日に地域住民のための学習会を計画したところ、当日は会場にあふれんばかりの人。リニアのしくみ、危険性、大型公共事業のリスク、市民への影響など学んだ後、質疑応答。「自分の家がルートにかかるのでは」、「電磁波や振動は？」など質問やリニア計画の疑問があいつぎました。

学習交流会 私たちのまちはどうなる？どうする！ リニア新幹線とその安全性

講師：阿部 修治さん（物理学者）

日時：4月27日（土）午後2時より（資料代300円いただきます）

場所：ソレイユさがみ セミナールーム2（橋本駅北口 イオン6F）

主催：リニア新幹線を考える相模原連絡会 リニア沿線住民ネットワーク

連絡先：松村(080-5182-5187) 桜井(042-773-7064) 浅賀(090-4378-9257) 中野渡(042-712-7077)

橋本公民館まつりでリニアの展示

—多くの市民が高い関心

去る3月2日、3日に橋本公民館まつりが行われ、リニア新幹線を考える相模原連絡会としてリニアの内容を市民に訴える展示を行いました。

県や市が相原高校の移転計画を含め数百億円もの経費を掛け、「地下中間駅」を誘致しても1時間に1本しか止まらないようなリニア新幹線が、ほんとに「まちおこし」になるのか、全体の8割がトンネルで運転士もいないリニア新幹線は安全な乗りものなのか、みんなで考えて見ようと「知る知る夢の??リニア新幹線への道のりを」と題して様々な資料をわかり易く展示しました。パネルの前は、子供から大人まで熱心に見入る人で賑わいました。

「シール投票」あなたならどっち? <東京から名古屋まで、「のぞみ」に乗ってゆとりの100分か、「リニア」に乗って不安の40分か>のコーナーでは、90%の人が「ゆとりの100分」。地震があったらどうやって逃げようかと心配しながら不安なリニアより、車窓(富士山や青空)を楽しみながら、お弁当を食べるゆとりのある「今の新幹線で充分じゃないか」というのが、みなさんの思いのようでした。



展示をのぞき込む参加者

中間駅は相模原の発展に本当に必要?

公開質問状への市の回答は具体性に欠ける内容でした。

リニア新幹線を考える相模原連絡会の提出した17項目の公開質問状に対して市から2月に回答があり、3月26日懇談をもちました。

市側からは「広域交流拠点推進室」、「交通政策課」、「環境政策課」、「危機管理室」などの担当者が出席しました。リニア相模原連絡会からは11名の参加で約2時間、17項目の内容に関して率直な懇談と意見交換が行われました。

回答内容は先日の回答文書と大差なく、多くの指摘のある安全性の問題についても「JRによって十分な安全が確保されるべきもの」、中間駅や車両基地建設に関わる様々な問題についても、「今年公表される予定の環境影響評価準備書の発表を待ってから」といった具体性のない内容でした。相模原市は中間駅誘致に積極的ですがその誘致効果についての説明はなく、きちんとした報告も出されていません。

市が作成し、「3月中に」と約束した経済波及効果の報告書を早く市民に公開することを要望します。

陳情は継続審議に (建設委員会傍聴記)

当会が市議会に提出した「リニア中央新幹線について」の陳情は、3月7日建設委員会で審査されましたが、「継続」となり6月議会で再度審査されることになりました。

担当部局が現在までの経過を説明し委員の質疑になりましたが、藤井委員の電磁波問題等々の質問に、市は鉄道事業は国の事業なのでと、まともに答えませんでした。また、市からJR東海に説明会を開くよう要請できないかとの藤井委員の意見に、久保田委員がもう少し様子を見たほうが良いと発言し、他の委員は殆ど無言。内容の乏しい30分でした。



事務局メンバーの伊藤さん、3・11のフクシマ集会に参加

リニア相模原連絡会の事務局メンバーでもある伊藤さん、福島集会に参加してリニア新幹線の問題点も大いに宣伝。リニア凍結の署名もたくさん集めてきました。

発行者： 浅賀きみ江 相模原市緑区東橋本2-6-2 (TEL:090-4378-9257)

編集責任： 中野渡旬 相模原市緑区東橋本3-19-8-309 (TEL, FAX:042-712-7077 mail: MHA01005@nifty.com)

活動は募金で維持しています。ご協力ください 郵便振替口座：00240-7-71305 口座名：リニア新幹線を考える相模原連絡会